



名古屋市【愛知県】 歴史文化基本構想

■ 策定年月：平成29年3月 ■ 人口：2,311,132人 ■ 面積：326km²
■ 担当課：名古屋市教育委員会事務局生涯学習部文化財保護室
(平成30年3月現在)



本市構想では、名古屋城下や熱田神宮周辺など「名古屋を代表する文化財」と市域全体に広がる「身近なまちの文化財」に分けて課題を整理した。前者の重要性は市の主要計画などでも取り上げられており、着実に名古屋らしい魅力を創出し、歴史観光につなげていくことを目指す一方、後者についても市民参加の調査体験等でその価値を明らかとし、活用につなげていくことを目指すこととした。

5 歴史文化を表す つのキーワード

庄内川、熱田と名古屋、名古屋城下町、
低地開発、モノづくり

課題

- ・市民の歴史イメージに偏りがある
- ・身近な文化財が認知されていない
- ・文化財を守る担い手が少ない
- ・指定文化財ですら知られていない

保存活用方針

- ・地域の文化財を知る
～新たな価値の発見・掘り起し～
- ・地域の文化財を未来へ伝える
- ・地域の文化財を活かす
～学びから発信へ～

保存活用のための取り組み

スタートアップシンポジウムを 開催し文化財の魅力発信

歴史文化基本構想の策定を記念したシンポジウムを名古屋の中心繁華街「栄地区」の中心にある会場で開催した。同日名古屋城で開催の「名古屋おもてなし武将隊」の演武時にもイベント周知を行い、幅広い人々になごやの文化財を知っていただく機会を持つことができた。



生涯学習センターなごや学講座 にて関連文化財群を設定

歴史文化基本構想を紹介する講座を、市内各区の生涯学習センターで開催する。講座では各区の歴史を紹介する一方で、区内でフィールドワークをおこない、区内の文化財を取り上げた関連文化財群の設定を目指す。



観光文化財アプリ 「なごや歴史探検」の開発公開

なごや歴史文化活用協議会の事業として、指定の有無に関わらず広く文化財を紹介する観光文化財アプリ「なごや歴史探検」を開発・公開し、身近なまちに残されている文化財の「見える化」を進めるとともに、観光資源として昇華させることを目指している。



民俗文化財の専門家による調査

市内に残されている民俗文化財の調査を進める一方、民俗行事を続けていくために不可欠な道具の修理の補助を行う。また適切な修理が行われるように、専門家による修理方法の検討・指導を行っている。



